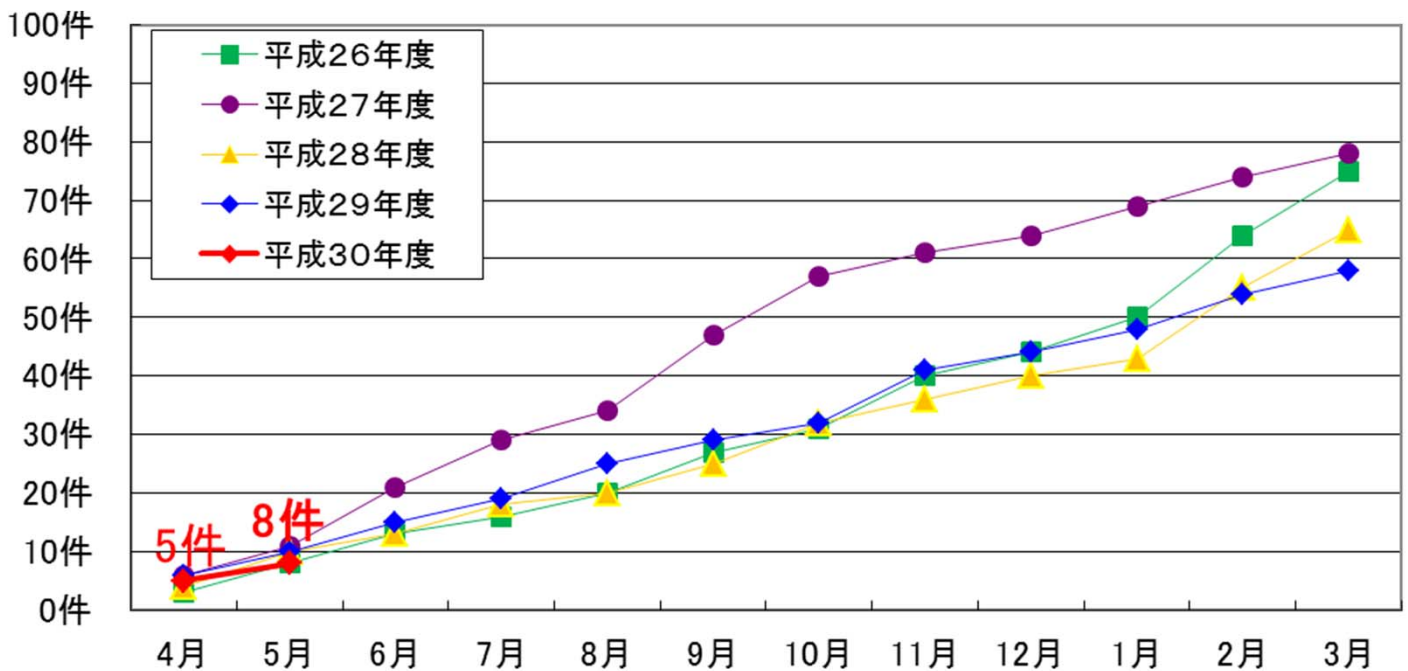


SAFETY SUPPORT NEWS

Contents

- 工事事務発生状況【5月事故発生件数（速報値）】
- 平成30年度重点的安全対策について
- 安全パトロール指摘事例 No.1 架空線等上空施設に対する保安措置
- 安全パトロール指摘事例 No.2 建設機械等の稼働に関連した人身事故防止対策
- 安全パトロール指摘事例 No.3 足場の設置・安全な通路の確保

工事事務発生状況【5月事故発生件数（速報値）】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)	27件 (7件)	31件 (4件)	40件 (9件)	44件 (4件)	50件 (6件)	64件 (14件)	75件 (11件)
平成27年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	11件 (5件)	21件 (10件)	29件 (8件)	34件 (5件)	47件 (13件)	57件 (10件)	61件 (4件)	64件 (3件)	69件 (5件)	74件 (5件)	78件 (4件)
平成28年度 累計 (月毎)	4件 (4件)	10件 (6件)	13件 (3件)	18件 (5件)	20件 (2件)	25件 (5件)	32件 (7件)	36件 (4件)	40件 (4件)	43件 (3件)	54件 (11件)	64件 (10件)
平成29年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	10件 (4件)	15件 (5件)	19件 (4件)	25件 (6件)	29件 (4件)	32件 (3件)	42件 (10件)	45件 (3件)	49件 (4件)	55件 (6件)	58件 (3件)
平成30年度 累計 (月毎)	5件 (5件)	8件 (3件)										

Topics

- ◆直轄工事における2月の工事事務は**3件**発生し、うち1件は第三者が負傷する事故でした。
- ◆除草作業が増加するこの時期は、飛び石が疑われる事象の報告も増加します。事前調査や飛散防止対策を実施し、安全管理にご協力をお願いします。
- ◆気温・湿度共に上昇しています。こまめな水分補給や休憩等の熱中症対策を実施のうえ、工事関係者の体調管理には十分ご注意ください。



平成30年度重点的安全対策について①

➤ 平成29年度工事事故発生状況

平成29年度の工事事故発生件数は58件となり、**平成28年度と比較すると6件減少し、過去5年間では最少**となりました。また、死亡事故は発生しませんでした。

平成29年度工事事故発生件数	58件
労働災害	19件
公衆損害	34件
その他	5件

➤ 重点的安全対策

平成29年度の工事事故発生状況を踏まえて平成30年度「重点的安全対策」を定め、平成30年4月11日付けで通知したところです。

詳細は関東地方整備局ホームページに掲載しています。

関東地方整備局HP >> <http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000013.html>

◆平成30年度重点的安全対策項目

I. 架空線等の損傷事故防止 ① 事前確認及び周知・指導の徹底 ② 目印表示等の設置 ③ 適切な誘導 ④ アーム・荷台は下げて移動	II. 建設機械等の稼働に関連した人身事故 ① 適切な施工機械の選定及び使用 ② 誘導員の配置 ③ 作業員に対する作業方法の周知
III. 資機材等の下敷きによる人身事故防止 ① 危険性の調査と安全管理活動の徹底 ② 現場条件に応じた措置の実施 ③ 飛来落下等の防止対策の徹底	IV. 地下埋設物の損傷事故の防止 ① 事前調査、試掘の実施 ② 目印表示、作業員への周知 ③ 監視員の配置
V. 事故防止 ① 基本的な手順の遵守及び動作の確実な実施 ② 安全施工が確保される施工計画等の作成・検討 ⇒ 次ページで紹介 ③ 作業員に対する安全教育 ⇒ 次ページで紹介 ④ 適正な工程管理 ⑤ 交通安全管理	



平成30年度重点的安全対策について②

➤ 建設機械等や、荷役運搬機械等の転倒・転落防止

平成29年度に発生した工事事故のうち、**建設機械や荷役運搬機械の転倒・転落事故が増加**したことを踏まえ、V. 事故防止に「建設機械等や、荷役運搬機械の転倒・転落防止」に関する安全対策項目を追加しました。

関連する事故事例を一部ご紹介します。

建設機械の転倒に関する事故事例

バックホウのアタッチメントを交換するため現場内を移動しようとした際、**撤去したコンクリート塊の上を乗り越えようとしたため、バックホウが滑動し転倒。**



重機足場や移動に関する安全指示が無かった他、事故発生当時はオペレーターが一人で作業を行っており、ある程度の段差は乗り越えられるであろうと安易に判断し、不安定な足場のまま重機を移動させた。

荷役運搬機械の転倒に関する事故事例

悪天候の影響で、当初予定していた土砂運搬ルートの使用が困難になったため、急遽仮締切の一部を切り崩して坂路を造成し、土砂運搬ルートとして使用したが、坂路の路肩が崩壊し、重ダンプが横転した。



運搬変更に関して十分な検討がなされないまま仮設の工事用道路を造成し、また、締め固めが不十分な状態で重ダンプが走行した。さらには、路肩の明示がなされておらず、重ダンプが路肩に寄りすぎていた。

関東地方整備局管内の直轄工事現場を対象に実施された、安全点検パトロールにおいて、特に多くみられた指摘事例を紹介します。



安全パトロール指摘事例 No.1

＜架空線等上空施設に対する保安措置＞

是正前



上空構造物に対する保安措置が未実施

是正後



三角旗を設置し、上空構造物に対する高さ制限を明示

是正前



目印の三角旗が一部外れており、架空線を見落としやすい

是正後



三角旗を再設置し架空線の視認性を向上

◆平成29年度に発生した直轄工事における工事事故のうち、**架空線等の上空施設を損傷した事故は6件**発生しました。

◆架空線や上空施設に対する保安措置のほか、建設機械のブームや工事関係車両の荷台を上げたままの走行禁止に対する注意喚起や見張り員の配置など作業に際しての安全管理が重要です。



安全パトロール指摘事例 No.2

<建設機械等の稼働に関連した人身事故防止対策>

是正前



バックホウの運転席に空き瓶が転がっており、オペレーターの転倒や誤操作が誘発される危険がある

是正後



車内を整理整頓し、作業環境を改善

是正前



誘導員は配置しているが、作業員がバックホウの作業半径内に立ち入っている

是正後



誘導員を配置したうえで、オペレーター及び作業員に対し、作業半径内に立ち入らないよう指導監督

是正前



重機の合図者がオペレーターから視認しづらい

是正後



重機の合図者をオペレーターの視界に入る位置に配置

- ・平成29年度に発生した直轄工事における工事事故のうち、**建設機械の稼働に関連した人身事故**は**6件**発生しました。
- ・関係法令の遵守はもちろんのこと、建設機械との離隔を十分に確保した作業員配置や、重機足場の整備・点検を徹底するなど、適切な作業環境の整備が求められます。



安全パトロール指摘事例 No.3

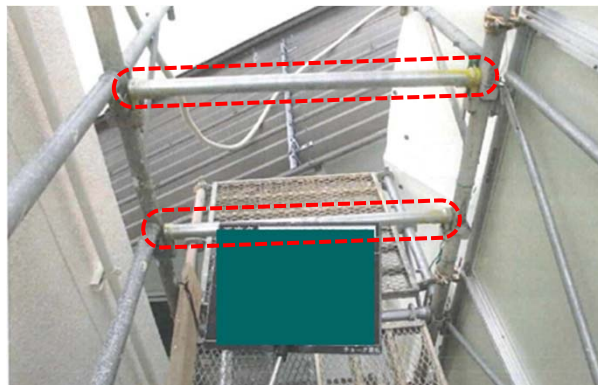
<足場の設置・安全な通路の確保>

是正前



足場端部に転落防止措置がなされていない

是正後



2 段手すりを設置

是正前



ジャッキベースが敷板中心からずれている

是正後



ジャッキベース位置を敷板の中心に是正

是正前



法面の昇降設備として脚立を立てかけて使用し、転位防止措置もなされていない

是正後



昇降用設備として仮設階段を設置

- ・ 高さ 2 m を超える場所で作業を行う場合には、関係法令に基づき適切な作業床の設置や安全帯の着用を徹底して下さい。
- ・ 通路に散乱した資材に躓き負傷する事象も報告されていますので、作業員の通路は整理整頓するとともに、適切に安全通路を整備して下さい。